

「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」 第1回推進会議の概要について

三重県の新しい長期の戦略計画である「みえ県民カビジョン」に基づき、県民の皆さんの持つさまざまな力を結集して取り組む「新しい豊かさ協創プロジェクト」に、委員として参画いただく皆さんと知事との交換をおこなう全体会議を平成24年7月8日(土)に開催しました。

また、全体会議に引き続き、5つのプロジェクトの1つである「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」の第1回推進会議もあわせて開催しました。

第1回推進会議には、7名の委員のうち5名の方々にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして特定非営利活動法人Mブリッジ理事長の米山 哲司氏にご出席いただきました。

なお、第1回推進会議の概要は、以下のとおりです。

「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、50音順、カッコ書は役職

川北 輝 (特定非営利活動法人津市 NPO
サポートセンター理事長)

小堀 正一 (三重県視覚障害者協会会員)

高橋 幸照 (水土里ネット立梅用水事務局長)

増田 正人 (公益社団法人みえ犯罪被害者
総合支援センター専務理事)

舛本 大輔 (国立大学法人三重大学大学院教
育学研究科特別支援教育専攻 2
年)

宮本 倫明 (「美し国おこし・三重」総合プロ
デューサー)

※宮本委員はご欠席

和田 京子 (特定非営利活動法人伊賀の伝丸
代表理事)

※和田委員はご欠席

<ファシリテーター>

米山 哲司 (特定非営利活動法人 Mブリッジ
理事長)

<推進会議の進行概要>

会議の大まかな進行は以下のとおり

開会 14:25

・戦略企画部長あいさつ

委員等の自己紹介

プロジェクトについて

・プロジェクト及び推進会議の説明
・県事業の説明

プロジェクト推進についての意見交換

・各委員の活動において産、学、官、民で
連携できている層、連携できていない層に
ついて

今後のスケジュール

閉会 16:10

(戦略企画部長あいさつ)

冒頭、推進会議のスタートにあって、山口和夫 戦略企画部長から委員の皆さんへのご挨拶とともに、「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」がめざす姿や実践取組の方向性について説明しました。

※プロジェクトで挑戦する4つの実践取組

- ①「次代を担う子ども・若者の県民力を高める仕組みづくり」
- ②「さまざまな事情で支援が必要な県民の皆さんの能力発揮・参画の支援」
- ③「『美し国おこし・三重』の新たな展開」
- ④「NPOの活動を支える仕組みづくり」

(委員等の紹介)

出席された各委員及びファシリテーターの皆様からそれぞれの活動内容とともに自己紹介をいただきました。



(プロジェクト及び推進会議の説明)

プロジェクト及び推進会議の概要等を事務局から説明するとともに、プロジェクトを構成する4つの実践取組について、それぞれの担当課から本年度の具体的な事業概要について説明しました。

(プロジェクト推進に向けた意見交換)

続いて、米山さんの司会によりプロジェクトの推進に向けた意見交換を行いました。

このプロジェクトは、様々な分野の事業が含まれていることから、推進会議で検討すべきテーマを抽出するため、各委員が取り組まれている活動で産、学、官、民のどの分野と連携が取れて、どの分野と連携が取れていないのかについて意見を出し合いました。

委員からの主な意見

各委員の活動によって、連携出来ている層と出来ていない層は異なる。

障がい者で自分の才能を発揮していない人を巻き込む必要があるが、そのための器具やシステムの開発が必要である。

民間の従業員の方が、休日に一個人として

地域の活動に参画いただけるよう働きかけることが重要。そのためには、地域にメリットがあることは参画するような発想の転換が必要である。

行政は、関わりの薄い層に参画してもらえらる仕組みづくりなどチャンスメーカーの役割を担うべきである。

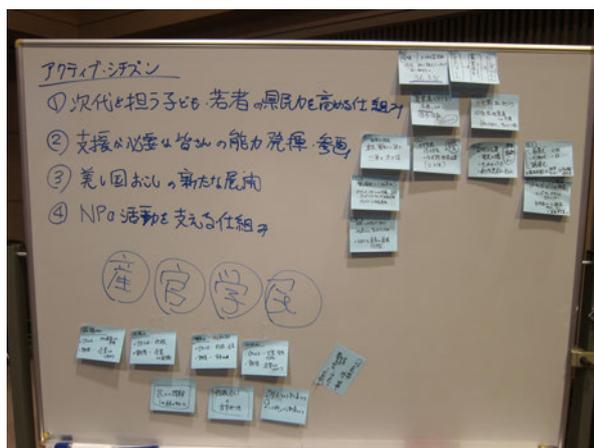
学生のボランティア団体は、団体毎で連携する層の強み、弱みが異なる。また、学生の立場から色々な層にアプローチするのは、限界がある。

行政による制度設計にあたっては、住民参画の観点から住民の主体性を発揮しやすくするような緩やかな設計も必要である。

価値観を共有してもらわないと一緒に活動してもらえない。

このプロジェクトを進めていくためには、参画いただいていない層への広がり的一面と、現在の活動をより活発にしていく面の両面がある。

推進会議では、参画者を増やす、ネットワークを広げる、持続可能な活動といった課題について議論していく。



(今後のスケジュールについて)

県民力を高める絆づくり推進プロジェクトの推進会議は、今後3回開催する予定であることを確認しました。

9月下旬から10月上旬頃に開催する次回会議については、本年度の取組の進捗状況の報告と翌年度に向けた取組方向を中心に話し合う予定です。

また、11月下旬から12月上旬頃に開催する第3回会議については、本年度の取組の進捗状況及び平成25年度当初予算の要求概要の報告と課題について話し合う予定です。

また、2月中旬頃から3月中旬頃に開催する第4回会議については、1年間の取組結果の確認と平成25年度に向けた意見交換を行う予定であることを確認しました。

次回（第2回）の開催予定

次回（第2回）推進会議は、平成25年度当初予算編成に推進会議からの意見・提案が反映できるよう9月下旬から10月上旬頃に公開で開催する予定です。